

# 令和5年度 堺東高等学校

## 第2回 学校運営協議会

### ご提言・ご意見のまとめ

令和5年度 堺東高等学校第2回学校運営協議会が、11月16日に開催されました。第2回の協議事項は、「総合的な探究の時間」の取り組みについてです。今回は、この時間に行われていた「総合的な探究の時間」の取り組みのようすを見学しています。また、学校経営計画の現状報告も行いました。

当日、体育館では1年生が「総合的な探究の時間」の1年次テーマである、障がい者理解のための「障がい者スポーツ体験」に取り組んでいました。2年生は「進路学習」、3年生は通常の授業にとりくんでおり、この様子についても見学しています。今回の議事内容について以下のようにまとめました。

#### 協議会委員

津田 謹輔	帝塚山学院大学 学長 (ご欠席)
上川 紀久恵	堺市立晴美台中学校 校長
遠藤 真砂美	晴美台1丁北自治会 (ご欠席)
森 繁樹	本校同窓会 会長
夏秋 香織	本校PTA 会長
逢阪 昌也	(株)ベネッセコーポレーション

#### 事務局

校長 教頭 事務長 首席 企画委員

#### 【次第】

- (1) 校長挨拶
- (2) 2・3年生 授業および校内見学
- (3) 1年生 「障がい者スポーツ体験」見学(体育館・多目的室)
- (4) 校長より学校経営計画の現状報告と今年度の取組み
- (5) 質疑応答
- (6) 事務連絡

## 【協議事項 「総合的な探究の時間」の取り組みについて】

《校長より》

教頭から説明がありましたように、前半は2年生と1年生の探究の授業の見学、後半はみなさまからご助言を頂戴したいと思います。1年生は、本日パラスポーツの体験を体育館でおこなっています。

<報告>

学校運営協議会委員の方と、学校管理職・首席で校内を見学しました。自立支援コース生徒(フレンド生)は、「生活」の授業の一環として、現在はピーマンなどを校内の畑で育てています。

校内では、1年次「産業社会と人間」・2～3年次「総合的な探究の時間」を「夢チャレンジⅠ・Ⅱ」とよんで探究的な学習に取り組んでいます。1年次後期では、障がい者理解をメインテーマにすえ、堺支援学校との交流会などに取り組んでいます。11月16当日には、大阪府立障がい者交流促進センター(ファインプラザ大阪)の職員を講師として招き、競技用車いすの試乗体験や、障がい者とともにできるスポーツとして有名なボッチャを行っていました。この様子を見学しました。

## 【報告事項

### 学校経営計画の達成状況について】

《校長より》

スライドで現在までの状況をご説明させていただきます。

第1回目に学校経営計画をご説明させていただきました。各評価指標の達成状況について学校教育自己診断をもとにチェックしようとおもっています。2～3年生の生徒には本日、その回答をしてもらっています。1年生については来週その時間を確保しています。保護者向けの学校教育自己診断については本日、連絡文書をお渡しする予定



です。また、教員の前期授業については7月に生徒向けのアンケートを実施しており、11月には後期の授業について生徒向けのアンケートを実施します。

次回1月の協議会のときには、最後のまとめを行う予定にしています。

一昨日、来年度の募集学級数の発表がありました。新年度は7学級募集となります。増学級となったことで、いっそうの広報活動などが必要と思っています。自立支援コースについては3人募集でこれまでと変わっていません。

学校教育計画の各項についてご説明いたします。



主体的・対話的で深い学び、ICTの教材の活用については、90.2%と目標をクリアしております。先々週は授業公開週間として、教員同士で自由な授業見学を行いました。今週14日には、午後の授業カットし、4つの授業で研究授業を行い、午後にその授業についての研究協議を行いました。このように授業力の研鑽を重ねる取り組みを行っています。

自分の考えを伝える、プレゼンテーションの能力については、総合的な探究の時間などを使って、スキルアップに取り組ませています。1年生の「わたしの夢」や今日の授業見学でご覧いただいた「障がい者理解」プログラム、2年生「SDGs」についての研究と発表、3年前期の「課題研究」などで、発表の機会を作っています。

基礎学力の向上についてですが、夏休み前には堺東ドリルを配布して、堺東高校生が苦手なところに対してのフォローを行っています。今年で実施3年目となりました。スタディサポートの診断でもGTZでも学校の目標値を達成し、昨年度よりも上回っています。スタディサポートの一環である学習状況調査によると、2年生においては学力の二極化が進んでいる、という分析もいただいています。この点についてはひきつづき指導をおこなっていきます。

自立支援コースの授業については、「ともに学び・ともに育つ」という観点のもと、6つの講座と探究の時間で、一般選抜生と同じ教室で授業を受けています。毎年1年生を中心に行っている堺支援学校との交流については、自立支援選抜コース生だけでなく、一般選抜生徒とともに準備を進めています。また、自立支援コース生については6月・12月に生徒・保護者・関係機関の方々の交流会を行なっています。さらに、堺東高校は、大阪府内の公立・私立高校において、特別な支援を要する生徒の指導や支援について教員に助言を行う拠点校となっています。10月までの時点ですが、私立もふくめ11校、計31件の相談を受けています。

働き方改革については、ペーパーレス化、水曜日を定時退庁日とする取り組みなどをすすめていますが、業務を減らすことはなかなか困難で、「ゆっくり」と進んでいる状況です。時間外在校時間は去年に比べ、94.7%となりました。時間外勤務が80時間を超える教員の述べ人数も減っています。

部活動の充実については生徒会を中心に工夫をこらしてもらっています。コロナで落ち込んだ生徒のクラブ活動入部率は1~2年生を中心に上昇し70%台に回復できました。ただ、3年生を中心に加入率がさがり、全体の目標はクリアできていません。

学校行事については、今年全学年が6クラスとなって、6団対抗の体育祭を行いました。団長を中心に応援やダンスなどの企画を生徒にしてもらいました。アンケートでは9割を超える生徒が「満足」としており、良い結果がでています。

地域との連携の例としては、はるみ小学校の小学生が障がいについて学ぶ総合学習において、本校の福祉科の講座と連携して、授業を行いました。福祉科の講座を選択する生徒が、来校したはるみ小学生に車椅子の使い方や体験、アイマスク体験を教えることを行っています。

本校の中学生への広報活動として、10月にオープンスクールを実施しました。オープンスクールのアンケートでは「わかりやすかった69%、大体わかった28%」とあり、好評のうちに第1回を終えています。第2回は11月18日を予定しており、また12月・1月でもミニ見学会を企画しています。今後も改善をしていき、多数の入学希望者を迎えらるる状況をつくりたいとおもっています。

## 【報告事項 現3年生の進路状況について】

《進路指導部より》

資料をご覧ください。4年制大学の希望者が年々増加しています。その背景として短大進学率が下がって高校生の4年制大学志向が高まっていることが理由にあると思われます。専門学校については大きな変化がありません。また、浪人生は4~5年前に比べると減っており、現役をめざす比率が高くなっています。

今年の3年生(50期生)の現状は、4月時点の進路希望調査では、国公立大学6.9%、私立大学(含む短大)69.1%、専門学校18.9%、就職(含む公務員)5.2%の志望割合となっていました。夏以降の受験状況をみると、国公立大学の志望者が減って、その層が私立大学へ、また、私立大学を志望する層が専門学校へとといった移動も見られますが、例年と傾向が大きくかわるものではありません。今後の進路の決定状況については、12月には進路決定調査というアンケートをとるので、第3回の運営協議会ではお示しできるとおもいます。

どのような方法で希望進路を実現していくかについては、指定校推薦を利用する生徒は増加し、今年度は53名でした。ひとクラスあたり8.33名となり、1クラスで5分の1が指定校推薦という状況になっています。これまでの指定校推薦はクラスで5名程度であり、現3年生は増加しているといえます。

また、過去にあまり見られなかった総合型選抜(旧AO入試)や総合学科対象入試を利用する生徒がおり、関西大学や追手門学院大を受験して合格している生徒が出ています。課題発見・課題解決といった夢チャレンジでの成果が出ている生徒がいるのではないかと、思っています。

3年生の学校生活の現状ですが、受験を控え学校を欠席しがち、メンタル面で弱い面が見られるなどの課題もありますので、学年で指導をしていきます。

## 【質疑応答(ご提言含む)】

(学校運営協議会委員より)

質問というわけではありませんが、こちら側でわかっている情報をお伝えします。高校の無償化に関連して、アクセスのよい私学に流れる傾向は小学校から中学校に上がる時点ですでにみられています。公立高校さんですと、施設等のハード面でも改善は、予算的に厳しいところもあるかと思います。ソフト面での改善が、よりいっそう必要になるかと思います。

また、ベネッセの学習状況調査のお話がありましたので、これについても補足いたします。1年生について、学力の二極化はないものの、学習習慣については、二極化が見られています。今後、学力に開きが出てくる可能性があり、この情報を授業改善に活かしていただきたいとおもいます。

(学校運営協議会委員より)

堺東高校は地域の総合学科として長い年月がたってきました。夢チャレンジの取り組みが功を奏してきている報告もいただきました。大学名と自分の学力を比較して選ぶというやりかたもありますが、自分のやりたい学科・学部を、高校生のうちから探究して進路を考えていく、といった行動を重視してほしいとおもいます。

部活動についてですが、運動系だけでなく文化系のクラブでもがんばっているとおもいます。ですが、大会などがすべての文化系クラブであるわけではなく、がんばっている様子が分からないこともあります。堺東高校では、運動部員と文化系部員のどちらが多いのでしょうか。また3年生でクラブ員が減ったとのことですが、なにか理由などわかりますでしょうか。

→(校長)

現状では、運動系のクラブ員の方が多くいます。部活動をやめた理由としては、コロナ禍の影響や経済事情等によりアルバイトになられた、などが考えられます。

(学校運営協議会委員より)

中学校では子供の数がへったために教員の数がへり、クラブの数を維持できなくなっています。そのため、中学校ではクラブの種類を減らす傾向にあります。ですので、高校でどのようなクラブができるか、は重要な志望理由になっているように思います。中学校では、コンピュータを身につけたりEスポーツを行うクラブが人気という話もあります。

(学校運営協議会委員より)

外部指導者を導入しているクラブはありますか。

→(校長)

ハンドボール部に、試合の引率もできる外部指導者に来てもらっています。また単独での引率はできませんが技術指導者としてアーチェリー、サッカー、ダンス、茶道、書道の各クラブで指導者に来てもらっています。

(学校運営協議会委員より)

息子が堺東高校に入学したときは、コロナの制限下であり、クラブ説明会など数々の行事が中止されました。クラブには興味があるが、説明会が中止され、名前しかわからないから、決められないので困るということがありました。

(学校運営協議会委員より)

総合学科の魅力伝えるのは難しくありませんか？

→(校長)

中学生の保護者から、多くの選択肢がある中から、科目を自分で選ぶのは大変ではないか、といった懸念の声は実際に説明会であがりました。教員が今まで以上に将来の夢実現に向けた科目選択を助言・指導していく必要があるとおもいます。また、総合学科の堺東高校として生徒の進路・科目選択を十全にサポートできるよう、組織の改編も考えているところです。

→(進路指導部長)

中学校では科目選択はほとんどありません。ですので、科目選択を行うことが初めて、という生徒が大半です。進路指導部や教員の視点から見ると、本人の希望進路の実現を叶えられるのか不安な科目選択をしてきている生徒も正直います。進路指導部も担任をバックアップしながら、よい科目選択を行えるように指導していきます。

## 【事務連絡】

《教頭より》

質問があれば、電話やメールでお寄せください。次回の第3回は1月25日の予定です。

また、資料にもありますが、今週末11/18、11/19に本校の自立支援生が「ともにいきる障がい者展(ともいき)」に出てプレゼンテーションを行います。お時間がありましたら、ぜひ見に来ていただけたらと思います。ありがとうございました。